

ID 1008394

力強く水をかき分け  
全員そろって次は世界へ



▲左から、山本さん、山崎さん、宇賀神さん、箭内さん

ビッグツリスポーツクラブチーム

背泳ぎ	山本 正之さん	(84歳)
平泳ぎ	山崎 稔さん	(75歳)
バタフライ	宇賀神 正作さん	(78歳)
自由形	箭内 勝一さん	(83歳)
	(大会基準日 令和2年12月31日時点)	

プロフィール

日頃から、水泳の練習に励み、トレーニングを欠かさない4人の合計年齢は320歳。

10年前に、男子4×100mメドレーリレーで日本新記録を樹立。今回、同種目、同じメンバーで「第21回CMC新年マスターズフェスティバル」に出場。

今年1月、千葉県で開催されたマスターズ水泳の大会「第21回CMC新年マスターズフェスティバル」。男子4×100mメドレーリレーの合計年齢320〜359歳区分で、ビッグツリスポーツクラブに通う、山本さん・山崎さん・宇賀神さん・箭内さんの4人が、見事、日本新記録となる7分10秒34で、優勝を飾りました。

マスターズ水泳は、18歳から100歳以上まで参加することができ、さまざまな水泳競技で、個人・団体・年齢・能力の区分ごとに競い合う水泳大会です。

4人は10年前にも、今と同じメンバーで、男子4×100mメドレーリレーの合計年齢280〜319歳区分で大会に臨み、日本新記録をマークしました。

その時に「10年後も、同じメンバーで一つ上の区分に出場し、次は世界新記録を狙う」と決意し、挑んだ今回の大会。「日本記録を更新したことはうれしいが、世界新記録には約9秒届かず、悔しさが残る」と口をそろえます。

4人が水泳を始めたきっかけは、学生時代の部活動や、現在のスイミングスクールに当たる水練学校で水泳を習ったり、定年退職をし

てから健康のために始めたりとさまざま。また、「昔はよく川遊びをした」と、小さい頃から水に親しんできた思い出を懐かしそうに、声を合わせて語ります。

普段のチームでの練習は、週に2回。リーダーの箭内さんが組んだ練習メニューに精を出します。その他にも、クラブのマスターズサークルでのチーム練習に加え、マシジムでの筋力トレーニングなど、個人練習も怠りません。

水泳に打ち込む原動力となっているものは、同じくらいの年齢の人に負けたくないという気持ち。「自分がその結果に満足できるかが大事」とそれぞれに語ります。また、「現状維持は後退である」と、常に前向きな姿勢を崩さないことを大切にしている4人。「今よりも楽に、さらに速く泳ぐためにはどうしたらよいか、常に考えて練習をする」と向上心が光ります。

今後の目標は、「10年後、一つ上の区分となる合計年齢360〜399歳区分に今と同じメンバーで出場し、世界新記録を樹立すること」と意欲を見せるメンバーたち。

世界を見据えて、一かき一かき力強く水をかき分け、次なる目標へ突き進んでいます。